鹿児嶌縣 有の八騎そろひ

後てあれ大我ホ友等 巡査田原坂あり城の囲 そをはめ下くそあかち 城方ホ必死我

傍小平山へ忍 然と城郭ゆくなさらう友等 方ホハカをひめり一城のおほを きく人で綾ホあを正正ぜけつそ 城方ハ然ヤ城ホむひ薩ホか 名をせさる白地を成んと却 ホ一ホ強弩をうそび城平 らう撃ぶ大地ホ城大いホ 投一なる城等の勇気あらホ ひく死傷も多きうくあ所 も八百人の兵を率ひて午後を 山ふうし一ひく我ひつる之迄あり とのホ篠原ハ吉次坂の我ホ軍と なく村田新八ハ浄ホを夜ひ等二歩 ハ我没せを吉次田原城ホてハ城 云刀を投き実全ども利あくて 鍋田村を焼き陣等のためホ白浜 辺内ホの城勢ハ地ホて撃ちそう あ々陣型のお等小平ハ討死一 あふ友等ホ名を名一吉松 永依ホハ名を殺平ホ名ひ 等一をり城郭を正そホ をりむくハ名一友討死せを 田原吉次の我ホ大地ホ境を 友等ひくお掃ひり我ハ 名ひく

明治十年三月五日 青届 同 三月 出版

東京 松木平吉 出版

熊本城 三好收蔵君 吉松收左君 西郷小平 篠原国幹 田原坂 桐野利秋 村田新八 西郷隆盛 吉松坂

錦絵 鹿児島県士族 出版人 金井徳兵衛